

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の概要（和歌山県）

1 調査の概要

(1)調査日 令和5年4月18日（火）

(2)調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3)調査内容

①調査を実施した学校・児童生徒

全公立小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
全公立中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

	国語	算数・数学	英語
学校数・児童数(小6)	225校・6,838人	224校・6,838人	
学校数・生徒数(中3)	115校・6,358人	115校・6,374人	115校・6,381人

②教科に関する調査

国語、算数・数学及び英語

③生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

・児童生徒に対する調査

(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)

・学校に対する調査

(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

2 教科に関する調査結果

(1)全国（公立）の平均正答率の状況

単位：%

	小学校国語		小学校算数		小学校 理科	中学校国語		中学校数学		中学校 理科	中学校 英語
	A	B	A	B		A	B	A	B		
H26	72.9	55.5	78.1	58.2		79.4	51.0	67.4	59.8		
H27	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0	
H28	73	58	78	47		76	67	62	44		
H29	75	58	79	46		77	72	65	48		
H30	71	55	64	52	60	76	61	66	47	66	
H31(R1)	64		67			73		60			56
R3	65		70			65		57			
R4	66		63		63	69		51		49	
R5	67		63			70		51			46

※ R2は新型コロナウイルス感染症の影響等により実施見送り。

※ H28からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

※ H31(R1)からは、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のAB区分がなくなっている。

(2) 和歌山県（公立）の平均正答率の状況

単位：％

	小学校国語		小学校算数		小学校理科	中学校国語		中学校数学		中学校理科	中学校英語
	A	B	A	B		A	B	A	B		
H26	69.4	53.4	76.8	55.7		77.4	47.5	65.9	56.8		
H27	69.5	64.5	75.6	44.9	59.0	73.4	62.9	64.0	39.6	50.1	
H28	70	56	77	46		74	63	62	43		
H29	75	57	79	46		77	70	65	48		
H30	72	55	63	51	60	75	59	67	45	65	
H31 (R1)	64		66			70		59			55
R3	65		70			61		55			
R4	65		63		63	66		50		46	
R5	68		63			67		50			44

※ R2 は新型コロナウイルス感染症の影響等により実施見送り。

※ H28 からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

※ H31 (R1)からは、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のA B区分がなくなっている。

(3) 和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位：％

	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
県	68	63	67	50	44
全国	67	63	70	51	46
差	1	0	-3	-1	-2

○小学校は、国語が全国を上回り、算数は全国と同程度となった。中学校は、全ての教科で全国を下回った。

(4) 和歌山県（公立）の無解答率〔平均〕と全国（公立）の無解答率〔平均〕との比較（小学校）

単位：％

	国語		算数	
	県	全国	県	全国
R3	2.4	4.3	2.0	2.6
R4	3.3	5.7	2.3	3.5
R5	2.8	4.8	2.3	3.4

(中学校)

単位：％

	国語		数学		英語	
	県	全国	県	全国	県	全国
R3	5.1	4.4	10.8	11.2		
R4	4.7	4.3	10.9	10.8		
R5	5.2	4.6	10.1	9.6	6.2	5.7

○小学校は、全ての教科で全国より低くなった。中学校は、全ての教科で全国より高くなった。

(5) 記述式問題における和歌山県（公立）の平均正答率と全国（公立）の平均正答率との差

単位：％

	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学	中学校英語
県	52.6	48.7	64.0	40.2	12.8
全国	51.1	47.3	68.0	41.6	13.5
差	1.5	1.4	-4.0	-1.4	-0.7

○小学校は、全ての教科で全国を上回った。中学校は、全ての教科で全国を下回った。

3 教科の概要

◇…「できている」と考えられるもの

◆…「課題がある」と考えられるもの

[] 内は、問題番号と正答率

【小学校国語】

小学校国語の平均正答率は68%であった。

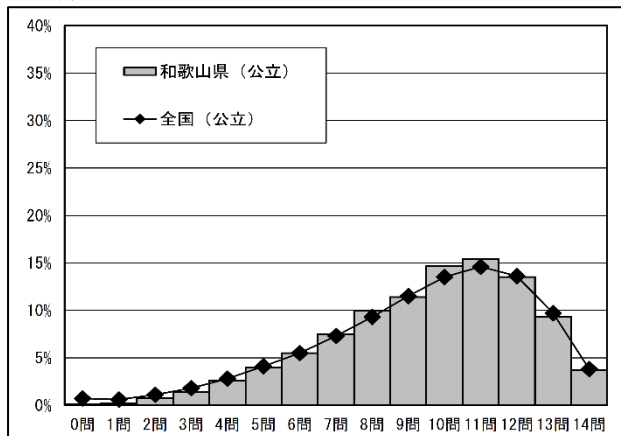
◇目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することはできている。 [2]一 90.7%

◇目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることはできている。 [3]二 74.9%

◆図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 [1]二 26.4%

◆日常よく使われる敬語を理解することに課題がある。 [3]三 57.1%

正答数分布グラフ



学習指導要領の内容別平均正答率

単位：%

[小学校国語]		和歌山県(公立)	全国(公立)	差
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	71.8	71.2	0.6
	(2) 情報の扱い方に関する事項	64.0	63.4	0.6
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	75.7	72.6	3.1
	B 書くこと	26.4	26.7	-0.3
	C 読むこと	71.5	71.2	0.3

【中学校国語】

中学校国語の平均正答率は67%であった。

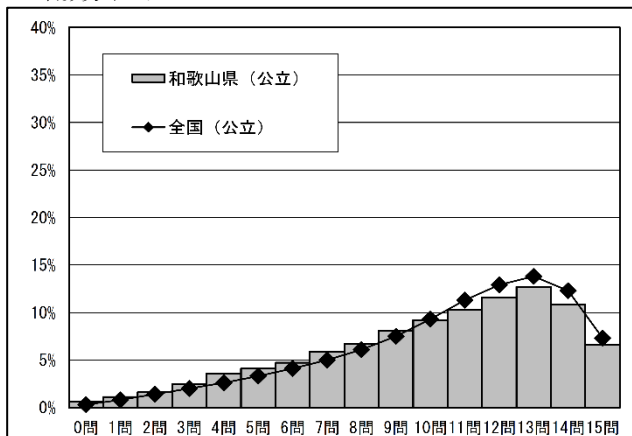
◇目的や場面に応じて質問する内容を検討することはできている。 [1]一 85.2%

◆文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることに課題がある。 [2]四 63.5%

◆自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。 [3]四 67.9%

◆文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。 [4]三 45.9%

正答数分布グラフ



学習指導要領の内容別平均正答率

単位：%

[中学校国語]		和歌山県(公立)	全国(公立)	差
知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	64.6	67.5	-2.9
	(2) 情報の扱い方に関する事項	61.6	63.4	-1.8
	(3) 我が国の言語文化に関する事項	72.2	74.7	-2.5
思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	78.8	82.2	-3.4
	B 書くこと	59.6	63.2	-3.6
	C 読むこと	60.3	63.7	-3.4

【小学校算数】

小学校算数の平均正答率は63%であった。

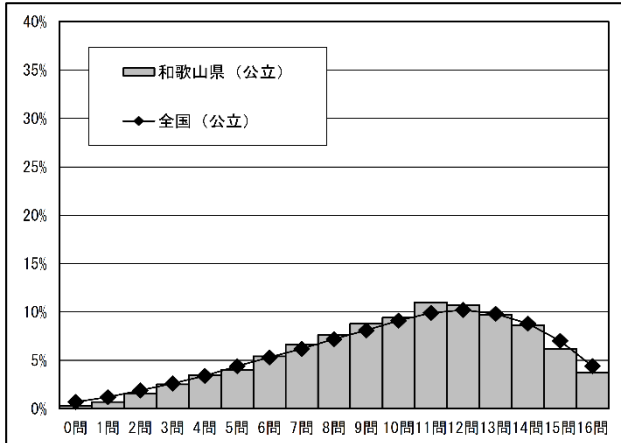
◇伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることはできている。 [1](2) 89.2%]

◇ () を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることはできている。 [3](1) 72.3%]

◆高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。 [2](4) 18.8%]

◆百分率で表された割合について理解することに課題がある。 [4](1) 41.3%]

正答数分布グラフ



学習指導要領の領域別平均正答率

単位：%

[小学校算数]	和歌山県 (公立)	全国 (公立)	差
A 数と計算	68.0	67.3	0.7
B 図形	46.5	48.2	-1.7
C 測定			
C 変化と関係	70.9	70.9	0
D データの活用	66.8	65.5	1.3

【中学校数学】

中学校数学の平均正答率は50%であった。

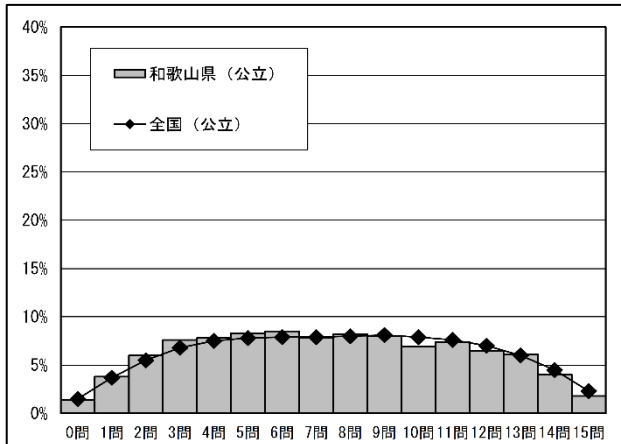
◇数と整式の乗法の計算をすることはできている。 [2] 81.7%]

◇四分位範囲の意味を理解することはできている。 [7](1) 66.6%]

◆空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解することに課題がある。 [3] 27.7%]

◆事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 [8](3) 40.1%]

正答数分布グラフ



学習指導要領の領域別平均正答率

単位：%

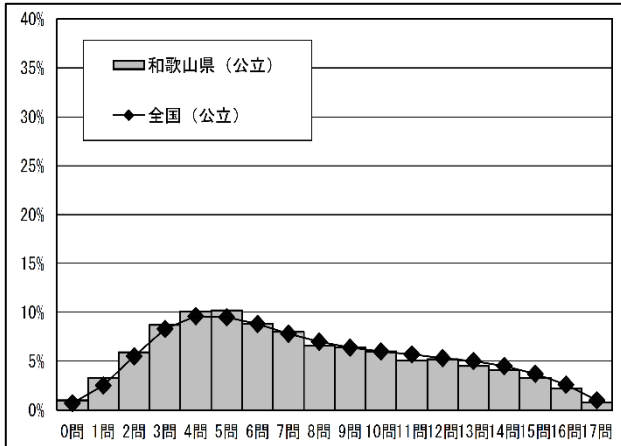
[中学校数学]	和歌山県 (公立)	全国 (公立)	差
A 数と式	62.3	63.0	-0.7
B 図形	31.2	33.2	-2.0
C 関数	47.7	51.2	-3.5
D データの活用	49.5	48.5	1.0

【中学校英語】

中学校英語の平均正答率は44%であった。

- ◇情報を正確に聞き取ることはできている。 1 79.5%
- ◇「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことはできている。 [5](2) 64.3%
- ◆日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることに課題がある。 [2] 54.9%
- ◆文と文との関係を正確に読み取ることに課題がある。 [7](1) 56.4%

正答数分布グラフ



学習指導要領の領域別平均正答率

単位：%

[中学校英語]	和歌山県 (公立)	全国 (公立)	差
(1) 聞くこと	55.7	58.4	-2.7
(2) 読むこと	49.1	51.2	-2.1
(3) 話すこと [やり取り]			
(4) 話すこと [発表]			
(5) 書くこと	22.8	23.4	-0.6

4 児童生徒質問紙調査結果

※児童生徒質問紙調査 72 項目より、特徴のあるものを抜粋。

(1) 【学習に対する興味・関心、授業の理解度】

- ①「勉強は好きですか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校の算数、中学校の数学は全国を上回り、小学校の国語は同程度であるが、中学校の英語は全国を下回り、中学校の国語は全国を下回り、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
R3国語	58.7	58.4	0.3
R4国語	60.8	59.2	1.6
R5国語	61.4	61.5	-0.1
R3算数	70.9	67.8	3.1
R4算数	65.8	62.5	3.3
R5算数	66.2	61.4	4.8

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
R3国語	56.4	60.8	-4.4
R4国語	57.6	61.9	-4.3
R5国語	55.4	61.4	-6.0
R3数学	57.9	59.1	-1.2
R4数学	57.6	58.1	-0.5
R5数学	57.9	56.7	1.2
H31(R1)英語	53.7	56.0	-2.3
R5英語	49.0	51.9	-2.9

- ②「授業の内容はよく分かりますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校の国語、算数、中学校の数学、英語は全国を上回り、中学校の国語は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
R3国語	86.6	84.2	2.4
R4国語	86.2	84.0	2.2
R5国語	87.5	85.7	1.8
R3算数	87.0	84.6	2.4
R4算数	83.3	81.2	2.1
R5算数	84.4	81.2	3.2

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
R3国語	80.1	80.1	0.0
R4国語	80.2	81.2	-1.0
R5国語	79.0	80.0	-1.0
R3数学	75.4	74.6	0.8
R4数学	78.2	76.2	2.0
R5数学	77.1	73.3	3.8
H31(R1)英語	69.8	66.0	3.8
R5英語	66.3	63.9	2.4

- ③「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか（中学校：国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか）」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回っているが、中学校は全国を下回り、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
R5	71.8	71.1	0.7

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
R5	59.1	63.9	-4.8

- ④「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか（中学校：文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか）」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回っているが、中学校は全国を下回り、差がある。

(小学校) 単位:%

児童質問紙	県	全国	差
R5	82.6	82.3	0.3

(中学校) 単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
R5	73.6	77.2	-3.6

- ⑤「あなたが1、2年のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、全国を下回り、差がある。

(中学校)

単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	75.0	79.2	-4.2
R5	71.7	78.2	-6.5

- ⑥「あなたが1、2年のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、全国を下回り、差がある。

(中学校)

単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	57.5	62.9	-5.4
R5	57.9	63.8	-5.9

- ⑦「あなたが1、2年のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、全国を下回り、差がある。

(中学校)

単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
H31(R1)	70.6	74.6	-4.0
R5	73.2	79.3	-6.1

(2) 【学習指導】

- ①「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」について、「発表していた」「どちらかといえば、発表していた」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国を下回っている。

(小学校)

単位:%

児童質問紙	県	全国	差
R3	63.9	63.5	0.4
R4	65.5	65.4	0.1
R5	65.3	63.7	1.6

(中学校)

単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
R3	60.2	62.0	-1.8
R4	61.1	63.3	-2.2
R5	60.0	62.1	-2.1

- ②「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っている。

(小学校)

単位:%

児童質問紙	県	全国	差
R3	77.3	78.2	-0.9
R4	76.3	77.3	-1.0
R5	78.0	78.8	-0.8

(中学校)

単位:%

生徒質問紙	県	全国	差
R3	81.3	81.0	0.3
R4	77.2	79.2	-2.0
R5	78.6	79.2	-0.6

- ③「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	82.4	81.4	1.0	R3	77.2	74.3	2.9
R4	78.7	79.7	-1.0	R4	75.9	75.3	0.6
R5	85.0	82.9	2.1	R5	76.6	74.9	1.7

- ④「学級の友達（中学校：生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	79.4	78.8	0.6	R3	77.8	77.8	0.0
R4	80.6	80.1	0.5	R4	76.0	78.7	-2.7
R5	83.3	81.8	1.5	R5	77.8	79.7	-1.9

- ⑤「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	79.7	78.3	1.4	R3	73.6	74.6	-1.0
R4	79.5	78.2	1.3	R4	72.6	74.7	-2.1
R5	78.7	77.4	1.3	R5	68.5	69.2	-0.7

(3) 【学習習慣、読書習慣】

- ①「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」について、「よくしている」「ときどきしている」と回答した割合は、小学校は全国と同程度であるが、中学校は全国を下回り、差がある。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	72.6	74.0	-1.4	R3	60.8	63.5	-2.7
R4	69.0	71.1	-2.1	R4	54.2	58.5	-4.3
R5	70.2	70.7	-0.5	R5	51.4	55.0	-3.6

- ②「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」について、「全くしない」と回答した割合は、小学校は全国より低い、中学校は全国より高く、差がある。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	23.8	24.0	-0.2	R3	44.9	37.4	7.5
R4	25.6	26.3	-0.7	R4	45.7	39.0	6.7
R5	24.4	24.5	-0.1	R5	42.4	36.8	5.6

(4) 【生活習慣、挑戦心、自己有用感】

① 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」について、「している」「どちらかといえば、している」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	90.7	90.4	0.3	R3	93.2	92.7	0.5
R4	91.2	90.4	0.8	R4	93.7	92.2	1.5
R5	91.0	90.5	0.5	R5	92.0	91.3	0.7

② 「自分には、よいところがあると思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を上回っている。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	76.2	76.9	-0.7	R3	75.1	76.2	-1.1
R4	79.4	79.3	0.1	R4	77.3	78.5	-1.2
R5	84.7	83.5	1.2	R5	80.2	80.0	0.2

③ 「将来の夢や目標を持っていますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っている。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	80.1	80.3	-0.2	R3	67.3	68.6	-1.3
R4	78.7	79.8	-1.1	R4	65.1	67.3	-2.2
R5	80.5	81.5	-1.0	R5	65.2	66.3	-1.1

④ 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国と同程度である。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	96.5	95.5	1.0	R3	95.1	95.0	0.1
R4	95.4	95.1	0.3	R4	95.4	95.0	0.4
R5	97.0	95.9	1.1	R5	94.6	94.6	0.0

⑤ 「自分と違う意見について考えるのは楽しいですか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国を下回っている。

(小学校) 単位:%				(中学校) 単位:%			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	71.3	70.1	1.2	R3	73.6	74.7	-1.1
R4	75.5	73.5	2.0	R4	75.2	76.9	-1.7
R5	78.8	76.5	2.3	R5	76.7	77.6	-0.9

(5) 【地域とのつながり】

- ① 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合は、小学校は全国を上回り、中学校は全国と同程度である。

(小学校)				(中学校)			
児童質問紙	県	全国	差	生徒質問紙	県	全国	差
R3	50.2	52.4	-2.2	R3	42.7	43.8	-1.1
R4	48.6	51.3	-2.7	R4	36.8	40.7	-3.9
R5	78.0	76.8	1.2	R5	63.6	63.9	-0.3

※令和4年度までの調査項目は「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」である。